

実施責任者 美濃導彦 京都大学学術情報メディアセンター
 笠原秀一 京都大学学術情報メディアセンター
 村上陽平 京都大学デザイン学ユニット

参加者 Kensuke Morris 京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻M2
 和田拓也 京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻M1
 王隆基 京都大学大学院教育学研究科M1
 橋爪雅人 京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻M1

実施協力者 清水和孝 京都市 総合企画局 情報化推進室
 清水直樹 京都府 政策企画部
 ITコンソーシアム京都, 京都市観光協会

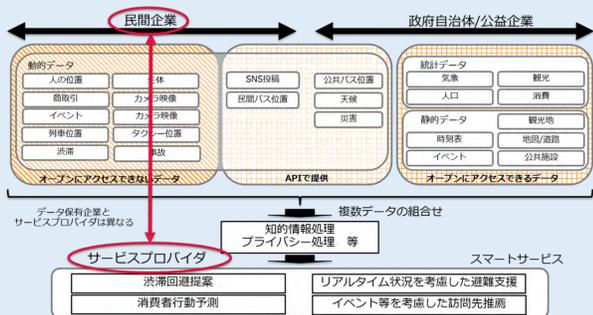
1. 実習概要

本実習では、データの地産地消の考え方に基いて、“京都の観光”をテーマにスマートサービスをデザインすることを目的とする。

参加者は京都観光の問題点についてのディスカッション、関係者へのインタビューを実施後、最終的に2チームに分かれてサービスをデザインした。

各チームは、ITコンソーシアム京都観光部会の講演会でプレゼンテーションし、識者による講評を受けた。

“データの地産地消” = 地域のデータを、地域の企業・団体が、地域の住民・訪問者向けサービスとして提供すること。



実習でのポイント

- ・旅行者、データ保有者、地域住民、行政といった複数の視点の獲得。
- ・情報処理技術や既存事例の調査手法の体験。関係者インタビュー、公開データの分析、技術の調査
- ・参加者のアイデアを統合するデザイン手法の実習。

最終発表:

- ・ITコンソーシアム京都講演会で最終発表。
- ・聴講者50名以上。
- ・京都観光と情報通信技術の専門家が講評。

2. アイディアジェネレーションと合意形成

1. 参加メンバーによるディスカッション

「京都観光の問題点は？」
 「問題解決にどんなサービスが必要か？」



2. 交通機関やレストランの混雑が旅行者の満足度を下げている!

| 分類 | 割合(%) | 例 |
|---------|-------|--|
| 人が多い、混雑 | 15.0 | ・バスが混雑しすぎていて、利用を諦めた ・人が多くて、ゆっくり楽しめない |
| 公共交通機関 | 12.3 | ・バスの乗降がスムーズでないため、時間がかかった ・交通機関がわかりにくい |
| マナー | 9.0 | ・観光客の中にマナーの悪い方がいた |

京都市「京都観光総合調査」平成28年より

3. 異なる2つのアプローチ毎にサービスをデザイン

チーム fast eating

混雑情報を提示して無駄な時間を最小化

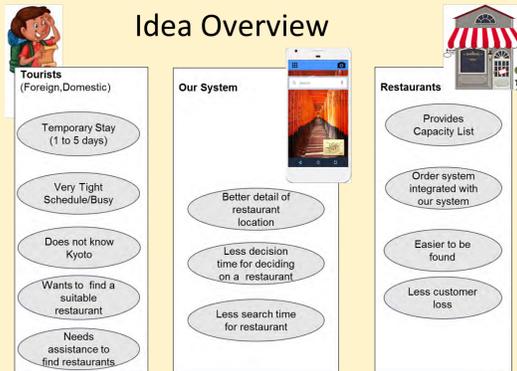
チーム Pointrip

活用しきれっていない観光リソースへの分散

サービス案1 ハヤグイ fast eating

数日しか滞在しない旅行者のスケジュールは非常にタイトであり、ベストなレストランを素早く見つけるニーズがある。

サービスの目的
 レストランの詳細な情報を提供して、旅行者の検索ストレスや選択ストレスを解消する。

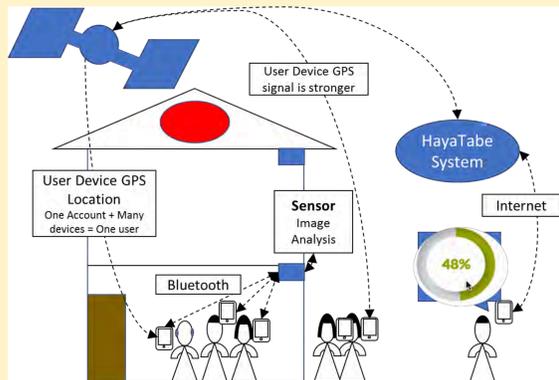


レストラン情報をビジュアルに提供

混雑度 約90%
 席の平均回転時間 15分
 カテゴリー 日本料理
 フロアマップ



スクリーンイメージ



使用するデータの収集イメージ
 将来的にIoTを活用して自動的に収集

サービス案2 Pointrip

目的: 非混雑地域の観光客の誘導

→目的地またはルートを変更してもらう必要性

概要: 地域版SNSサービスによる観光客同士の情報共有

→訪れたいと思う新しい観光スポットやルートを提供

特徴: ①全てのアカウントの投稿閲覧を通して観光情報が取得できる

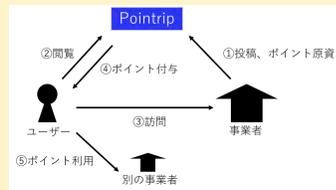
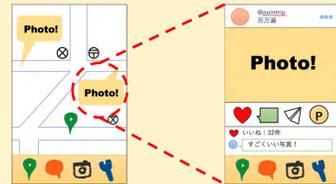
②投稿と訪問のインセンティブのためのポイント制度

③混雑を回避した、ストーリーのあるルート検索

対象: ・観光プランが未確定の人

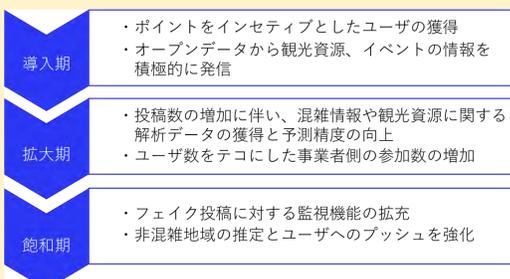
・新しい観光スポットに関する情報を得たい人

・混雑を回避して観光を楽しみたいと思っている人



| | Pointrip | Instagram, Facebook | Mizica, |
|------------|----------------|---------------------|---------|
| 投稿表示方法 | 地図上 | 時系列 | 地図上 |
| 投稿内容 | 写真, 動画 | 写真, 動画 | ※ |
| 投稿の共有範囲 | すべて公開 | 友人 | すべて公開 |
| 投稿のインセンティブ | ポイント獲得 | 友人へのシェア | 情報共有のみ |
| チャット機能 | あり | あり | ※ |
| その他機能 | 地域情報を利用したルート検索 | なし | 混雑予想の提示 |

提案サービスの利用モデル(サービス展開側)



提案サービスの利用モデル(ユーザ側)

